

## NEWS23 週刊報告      ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：9/9～/

### ・ 9/9(月)

【速報】西川社長辞任、韓国の政情、N 国の立花党首に任意の事情聴取、上皇后様が明日退院、自民党役員人事と内閣改造などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、N 国の立花党首に任意の事情聴取については放送法の観点から評価できるものでした。また、韓国の政情については検証者の所感を記しました。

### ・ 9/10(火)

内閣改造、入試改革、大阪松原市の市議会議員に不祥事、原田環境大臣の発言、ルノーCEO のコメント、美智子様が退院、北朝鮮の飛翔体などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、入試改革については不十分な点が見られました。また、内閣改造については検証者の所感を記しました。

### ・ 9/11(水)

内閣改造、トランプ政権、TBS テレビが過剰演出、小泉環境大臣の発言、上野宏史元厚労政務官の説明などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、内閣改造については今後の注視が必要と考えられるものでした。また、内閣改造および TBS テレビが過剰演出については検証者の所感を記しました。

### ・ 9/12(木)

第 4 次安倍再改造内閣、ふるさと納税、宮川典子衆議が死去、ECB が 3 年半ぶり利下げ、自民改憲本部長に細田氏を再起用、対中関税を先送りなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。

### ・ 9/13(金)

被災のさなかに内閣改造、米中貿易に暫定合意検討、諫早訴訟で差し戻し審、ロシア政府に米スパイの疑いなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、被災のさなかに内閣改造については放送法上問題と考えられる箇所が見られました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

## NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019 年 9 月 9 日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕、高橋尚子		
検証テーマ：【速報】西川社長辞任、韓国の政情、N 国の立花党首に任意の事情聴取 上皇后様が明日退院、自民党役員人事と内閣改造		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・【速報】西川社長辞任</li><li>・台風 15 号により千葉県などで大規模停電</li><li>・韓国の政情</li><li>・埼玉県でいじめを訴え少年が自殺</li><li>・N 国の立花党首に任意の事情聴取</li><li>・上皇后様が明日退院</li><li>・目黒虐待死事件で母親に検察が懲役 11 年休憩</li><li>・自民党役員人事と内閣改造</li><li>・スポーツ報道</li><li>・【異論反論】#「台風 15 号」への対応</li><li>・天気予報</li></ul>		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・【速報】西川社長辞任：結論→特に問題なし</li></ul> <p>小川キャスターの「まずは速報からお伝えいたします、日産自動車は今夜、会見を開きまして、西川社長が今月 16 日付で辞任することを発表しました。」というコメントを導入に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>西川広人（日産自動車社長）「やや早いタイミングでございますけれども先程申し上げた通りある部分のですね、ステップは踏めたと思っていますので取締役会の皆さんで議論していただいてまぁ k、決めていただいたということでございます。」</p> <p>ナレ「西川社長をめぐっては社内規定に違反し、株価に連動する役員報酬を上乗せして受け取っていたことが明らかになっていました。」</p> <p>木村康（日産自動車取締役会議長）「西川社長の方から辞任の意思表示が継続していた、それに対して昨今の状況からすると即座の辞任のほうが私どもは適切だろうと言うことで辞任をお願いしたという状況でございます。」</p> <p>ナレ「事実上の解任との見方も出た、今回の辞任、日産の指名委員会では後任人事については 10 月末を目処に調整を急いでいます。一方日産は車内調査の結果ゴーン前会長の不正による会社の被害総額は 350 億円以上となり、ゴーン前会長の責任を明確にするため損害賠償請求訴訟を起こすとしています、そのゴーン前会長について最後に西川社長は。」</p>		

西川社長「こういう状態にしてしまったことがですね、やはりいちばん大きな責任だろう、というふうに、罪だろうと思っていますし、その部分はですね、本当に悔いていただきたいと思います、謝罪なりその表明っていうのはですね、一回も聞いたことありません。」

このトピックに当てられた時間は 121 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 韓国の政情：結論→特に問題なし

スタジオで小川キャスターの「続いては大統領が任命を強行しました。」や山本キャスターの「韓国のムン・ジェイン大統領は側近の曹国氏の法相への任命に踏み切りました、多くの疑惑が取りざたされる中、強行した理由はどこにあるのでしょうか。」というコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレ「神妙な面持ちでムン大統領から任命状を手渡された曹国氏、望んでいた法相就任ですが表情を崩すことはありませんでした、ムン大統領にも迷いはあったようです。」

ムン大統領「任命賛成や反対の激しい対立がありました、あわや国民分裂につながる状況を見ながら大統領として深く悩まざるを得なかった。」

ナレ「では、なぜムン大統領は曹国氏の法相任命を強行したのでしょうか。」

ムン大統領「本人（曹国氏）が責任を負わねばならない明確な違法行為が確認されなかったのに、疑惑だけで任命しないならば悪い先例になるだろう。」

"ナレ「娘の不正入学疑惑や妻の資産隠し疑惑などが次々と浮上した曹氏、しかし、こう追及をかわしてきました。」

曹国氏「まったく事実ではない、今提起されている疑惑についてほとんど存じ上げません。」

ナレ「ムン大統領は本人の違法行為が確認されていない以上、任命すべきと判断したというのです、そしてもう一つムン大統領が曹国氏の法相就任にこだわってきた理由があります、任命式直後の挨拶で曹氏は」

曹国氏「私が法相に任命されたのは長年未完の課題として残されてきた法務・検察の改革を仕上げるべきとの意味だと考えております、検察は強い権力を持っていながら制度上の統制装置がありません。」

ナレ「政権の看板政策である検察改革、ムン氏はこれを曹氏に任せようとしているのです。2003 年からの盧武鉉政権で大統領の側近を務め、盧武鉉氏を盟友として慕っていたムンジェイン氏、しかし、盧武鉉氏は大統領を退任後、検察に不正資金疑惑を指摘され自殺。ムン大統領は政治的に中立な検察を実現したいとの思いを強くしたといいます。専門家はこの検察改革における曹氏の役割をこう指摘します。」

平井久志氏（共同通信客員論説委員）「曹国さんがムンジェインの選対本部に入ってから、このテーマは彼が推進してきたテーマなんですね、そういう意味では今の政権内部で検察改革を彼ほど推進する意欲と見識を持っている人はいないと。」

ナレ「ムン大統領は検察を指揮する法相に学者出身の曹氏を送り込むことで念願の検察改革を進めようというのです。しかし、検察側は曹氏や家族への捜査を進め、ムン政権による検察改革を牽制しているとの見方もあります。」

平井久志「捜査をしている検事たちの中には自分たちの既得権を守りたい、それは強くあると思いますね、大統領府と検察当局の対立というのが今後益々深まる可能性は私はあるんじゃないかな、と。」

"ナレ「さらに、韓国では夕方になって、」

ソウル大学学生「学生たちの命令だ、今すぐ辞退しろ。」

ナレ「ソウル大学の学生らおよそ 450 人が集会を開き法相辞任を求めて声を上げました。」

学生 A「本人の言った正義とは違う行動をしている、そんな人が国をリードしていけるとは思いません。」

ナレ「任命を強行したことで、足元の揺らぐムン政権、日本との関係にどんな影響を及ぼすのでしょうか。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「影響が気になるのですが、こちらをご覧ください、週末に JNN が行った世論調査の結果なんですが、今後の日韓関係について改善したほうがというのが良いが 79%、このままでよいの 13%を大きく上回って 8 割に達そうとしているわけなんですね。そして、日韓首脳会談についても、こちら、早期に開催すべきという開催が半数に達している、こうした結果が星さん出ているわけですね。」

星浩「そうですね、GSOMIA の破棄とかそういう韓国側の対応には批判的なんですけどもまあ改善したほうがいいんだという意見が多いというのはまあ非常に冷静な、まっとうな判断かなと思いますね。あの政治家ももう対立を煽るのではなくて両国の接点はないのかということに知恵を絞る時期が来ているような気がしますね。」

小川彩佳「うーん、接点とは言っても日本側にはどんな一手があるのかな、と。その根っこにある徴用工問題に関しても日本としては解決済みという立場であって譲るわけにはいかないわけですね。」

星浩「徴用工問題は韓国の中にもですね、政府と、韓国の政府と民間で基金を作って日本の民間企業が将来的にそこに加わってくるというやり方はどうかという案は検討されているんですね。日本政府は解決済みという立場ですので、なかなか直接支援はできないんですけども間接的に支援するというやり方は検討の余地があるということだと思うんですね。まあの GSOMIA の破棄の期限は 11 月下旬ですので、それまでにその徴用工の問題それから貿易管理の問題を決着させてですね、GSOMIA に残るということはできないのかということでは、日韓の関係者の接触が少しずつ動き始めているということだと思いますね。」

小川彩佳「11 月下旬までに接点を見出すことができるかということですね。」 "

このトピックに当てられた時間は 428 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ N 国の立花党首に任意の事情聴取：放送法の観点から評価

小川キャスターの「参議院議員で NHK から国民を守る党の立花孝志党首が東京の中央区議会議員を脅迫した疑いで警視長から任意の事情聴取を受けました。」というコメントに続き以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「警視庁月島警察署に姿を見せたのは 7 月の参議院選挙で初当選を果たした NHK から国民を守る党の立花党首です。」

立花孝志「これがもう立花けしからんやめろと言うんだったら、それはやめなきゃいけないと思っていますよ。やめなきゃいけないとかそんなんやられるかという感じですね。」

ナレ「立花氏によると警視庁から脅迫の容疑で任意の事情聴取を求められたというのです。」

立花孝志「俺はしつこいぞ、これからもやり続けるぞ、そうすると街中歩けなくなるから、街中歩けなくなるようにしてやるぞという発言はしたと記憶しています。それが脅迫に当たるということであれば、それは最終的に裁判官の判断を待つしかないと思いますよ。」

ナレ「立花氏は動画投稿サイトで東京中央区の二瓶文徳区議会議員を繰り返し批判していました。立花氏は二瓶

氏が NHK から国民を守る党から公認で当選したのみ関わらずその後無断で離党したからだ。」 "

"二瓶文徳（中央区議会議員）「彼女、母親を知っているんだぞ、という文言と、中央区歩けないようにしてやるからなという文言。一番やっぱり恐怖を感じました。毎回のように動画で二瓶文徳をぶっ壊すと言ってみたいだとか、。」

ナレ「立花氏に対しては」

二瓶文徳「人を攻撃するのではなくて国民を守る党なので、国民を守る活動をぜひやってほしいなと。」 "

立花孝志「二瓶文徳をぶっこわす。」

"ナレ「警視庁の事情聴取を終えた立花氏は記者会見を行いました。」

立花孝志「僕としてはまったく問題がない案件である、いわゆるバックレているんですよえ、何も言わずに所属していた党をバックレているんですよ。」 "

"ナレ「立花氏は議員同士のやり取りとした上で、表現の自由を逸脱する脅迫に該当するのか弁護士と検討する、などと述べました、一方自身の進退については今すぐやめることはない、とした上で、」

立花孝志「ぼくはまったく逃げる気もないですし、でも、この姿勢が多くの国民の皆さんがね、もうええかげんにしろ。ということになってくるのであればそれはそこまでして僕は政治家を続けるべきではないと思っていますが、あのそこは潔くやめようと思っています。少なくとも有罪になったらやめようとは思っています。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「有罪になったら辞職するということですからね。」

星浩「今度の参議院選挙で N 国は政党要件っていうのを得ましたので、税金である政党交付金ももらえるようになったんですね、ですから公的な存在ですね、国会議員にはそれなりの品位とか見識っていうのは求められるわけですね。」

小川彩佳「はい。」

星浩「有罪無罪という話があったけれどもこれは刑事上の問題として、政治的責任、政治的な説明の責任というのはあると思いますので、そのへんをやはり公的な政党の代表として自覚してもらいたいと思いますね。」 "

このトピックに当てられた時間は 244 秒で、立花孝志氏、二瓶文徳氏双方の意見が紹介されており、放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点では評価できるものだった。

・上皇后様が明日退院：結論→特に問題なし

山本キャスターによって「昨日、乳がんの手術を受けた上皇后様明日退院されると宮内庁が発表しました、午後五時半ごろ上皇様は東京文京区の東大病院を訪問し、上皇后美智子様を見舞われました、昨日、左胸の乳がんの摘出手術を受けられた上皇后様、1 センチほどと見られるガンとその周辺が摘出され、現状では転移は認められないということです。経過は概ね順調だということで宮内庁は上皇后様が明日、午後退院されると発表しました。」とのことが伝えられた、このトピックに当てられた時間は 50 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・自民党役員人事と内閣改造：結論→特に問題なし

ナレーションによって「明後日 11 日に行われる内閣改造、自民党役員人事を巡って安倍総理は鈴木俊一オリンピック・パラリンピック担当大臣を党四役の一つである総務会長に起用する方向で最終調整しています。また、

## NEWS23 週刊報告 詳細版

甘利明選挙対策委員長は党の税調会長に起用される見通しとなりました。さらに農水副大臣などを務めた江藤拓総理補佐官を農水大臣に起用する方向で調整が進められています。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 33 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・ 韓国の政情

スタジオで小川キャスターが「週末に JNN が行った世論調査の結果なんですが、今後の日韓関係について改善したほうがというのが良いが 79%、このままでよいの 13%を大きく上回って 8 割に達そうとしているわけなんです。そして、日韓首脳会談についても、こちら、早期に開催すべきという開催が半数に達している、こうした結果が星さん出ているわけですね。」と世論調査の結果を紹介していたが、これは元々どういう設問に対する回答だったのだろうか。

一般論として諸外国との関係は良好な方がよいほうがいいだとか、首脳会談を開催したほうが良い、というのは当然のことであるが、問題はそのためにどの程度のコストを支払えるのか、どの程度の妥協ならしてもよいのかということではなかろうか。そうした点を抜きにしての「関係を改善したほうが良いのか」であるとか「首脳会談を開催すべきだ」などという問いに一体何の意味があるのだろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年9月10日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：内閣改造、入試改革、大阪松原市の市議会議員に不祥事、原田環境大臣の発言 ルノーCEOのコメント、美智子様が退院、北朝鮮の飛翔体		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風15号が過ぎて</li> <li>・内閣改造</li> <li>・入試改革</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・大阪府松原市の市議会議員に不祥事</li> <li>・原田環境大臣の発言</li> <li>・ルノーCEOのコメント</li> <li>・美智子様が退院</li> <li>・北朝鮮の飛翔体</li> <li>・【異論反論】#広がる“マッチングアプリ”</li> <li>・天気予報</li> <li>・東京五輪マラソン代表選考まであと5日</li> </ul>		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣改造：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「明日に迫った内閣改造と自民党の役員人事ですが、その顔ぶれが明らかになりました。こちらをご覧くださいますとその顔ぶれなんです。麻生副総理兼財務大臣、そして菅官房長官、さらにこちら二階幹事長など政権の骨格となる方々については留任となったんですけれども、注目は環境大臣に内定しました、こちら小泉進次郎議員ですね、先日の結婚発表でも世間を驚かせた小泉議員ですが当選四回目で初めての入閣です。」というコメントを受けて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>ナレ「内閣改造を明日に控え閣議に臨んだ各大臣。」</p> <p>山下貴司法相「おはようございます、最後ぐらい名前でご呼んで。」</p> <p>ナレ「退任が決まった山下法務大臣は名残惜しそうで、岩屋防衛大臣は。」</p> <p>記者「もうちょっとやりたかったみたいなことはありますか。」</p> <p>岩屋毅防衛相「いやいや、特に、あのごさいます。」</p> <p>ナレ「今回は麻生副総理と菅官房長官以外は留任しない見通しで、大規模な改造となります、今日夕方、当選八回目の竹本直一氏のもとに総理から電話が。」</p> <p>竹本直一衆院議員（当選8回）「はい総理、竹本です。どうも、はいはいお世話になっております。」</p> <p>安倍総理「改造で入閣していただきますので・・・」</p> <p>竹本直一「ありがとうございます、お世話になります。」</p>		



秘書「おめでとうございます！」

テロップ「科学技術相に内定。」 "

ナレ「この他、安倍総理側近の萩生田氏の文部科学大臣の起用も固まっています。」

"安倍総理（先月 26 日）「まさに、この安定とそして挑戦、安定と挑戦のですね、強力な布陣を敷いていきたいと思っています。」

ナレ「そして今日、サプライズ人事として入閣が内定したのは小泉進次郎うじです当選 4 回、38 歳で初入閣です。小淵優子氏（元少子化担当相、当時 34 歳）、野田聖子氏（元郵政相、当時 37 歳）に次ぐ三番目の若さでの入閣です、小泉氏は昨日、」

インタビュアー「あの、どうですか、新婚。」

小泉氏「はっはっはっは。全然あれじゃないですか。」

ナレ「先月、滝川クリステルさんと結婚したばかりの小泉氏、その結婚報告は総理官邸で行われました。」 "

"小泉進次郎（先月 7 日、首相官邸）「この政治バカの私が、クリステルさんというと、政治という戦場から離れることができ、自分自身がもたれかかって、寄りかかっていいような、そういう無防備な自分に、政治家・小泉進次郎から人間・小泉進次郎に、そういうふうにさせてくれる。」

ナレ「この日、小泉氏は安倍総理に結婚を直接報告。」

安倍総理（先月 7 日）「まったく知らなかったもので、大変驚きましたけれども、令和時代の幕開けに相応しいカップルだなと思いました。」 "

ナレ「小泉純一郎元総理の次男として生まれた進次郎氏、2009 年、民主党の躍進で自民党に大逆風が吹く中、28 歳で初当選しました。」

"小泉進次郎「これから位置から自民党を作り直す、再建する、そのやりがいと使命を持って、戦わなければいけないなど、」

ナレ「2 年後には若手のエースとして自民党青年局長に抜擢。その一方で安倍政権に物言う若手の急先鋒としても注目されてきました。」

小泉進次郎（去年 9 月）「私は石破さんに一票を投じましたけれども自民党自身も違う意見を押さえつけるのではなくて違う意見を強みに変えていく、そんな自民党でなければならない、と。」

ナレ「過去二回の総裁選では石破元幹事長に投票。森友加計問題を巡っても。」

小泉進次郎（2017 年）「皆さんの疑念が払拭されるようにできるのは安倍総理しかいないんです。」

ナレ「度々安倍政権に物申してきた進次郎氏でしたがここ最近は見立った批判をする場面は見られませんでした。現在は厚生労働部会長として国会改革や社会保障改革に取り組んでいます。」 "

"ナレ「年明けに第一子が誕生する予定で育児休暇の取得も検討するとした進次郎氏、先月末、入閣についてこう応えていました。」

記者「入閣を要請された場合は断らない、と。」

小泉進次郎氏「仮定の話はしないほうがいいと思いますし、まず、それを考えるのは総理ですから。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川彩佳「改めてこれまでに判明している顔ぶれはご覧のように（ボードに副総理・財務相：麻生太郎（安倍総理シール付）、総務：高市早苗（安倍総理シール付）、法務：河井克行（安倍総理シール付）、外務：茂木敏充、



文部科学：萩生田光一（安倍総理シール付）、厚生労働：加藤勝信、農林水産：衛藤拓（安倍総理シール付）、経済産業：菅原一秀（安倍総理シール付）、国土交通：赤羽一嘉、環境：小泉進次郎、防衛：河野太郎、官房長官：菅義偉（安倍総理シール付）、復興：田中和徳、国家公安：武田良太、一億総活躍：衛藤晟一（安倍総理シール付）、科学技術：竹本直一、経済再生・社会保障：西村康稔（安倍総理シール付）、地方創生：北村誠吾、五輪：橋本聖子、幹事長：二階俊博、政調会長：岸田文雄、総務会長：鈴木俊一、選対委員長：下村博文（安倍総理シール付）、国対委員長：森山裕、税調会長：甘利明（安倍総理シール付）、参院幹事長：世耕弘成（安倍総理シール付）が表示）なっています、この安倍さん印がついている方々は安倍さんに近いとされる議員の皆さんなんですけれどもかなり多いなという印象をまず受けますよね。そして続投は政権発足からまず変わらないこの麻生さんと菅さんのみということで、担当が変わったのが河野さんとそれから茂木さんですね、そして再入閣が高市さんと加藤さん、それ以外の皆さんは初入閣ということになるんですけれども、注目なのはやはり小泉進次郎議員ですよ。ここについては後ほど星さんに解説していただくんですが、まず全体のこの顔ぶれご覧になっていかがですか。」

"星浩「まあその、先ほど説明があって安倍さんに近い人、まあいわゆるお友達が多いですね、それから安倍さんが色々お世話になった人に対して報いる、まあ謝恩セール内閣と言っていいでしょうね。で、今までご指摘があった以外にも例えば茂木さんと加藤勝信さん竹下派ですけども、安倍さんに非常に近い方ですね。」

小川彩佳「まだいらっしゃるんですね、安倍さんに近い方（茂木外相と加藤厚労相に安倍総理のシールを貼る）。」

星浩「それから注目されるのはですね公明党ですけども赤羽さんというかたは公明党の中でも、安倍さんに非常に近い方ということ。」

小川彩佳「うーん（赤羽国土交通省に安倍総理のシールを貼る）」

星浩「全体として安倍さんに近い人を重用したということが伺えますね。」

小川彩佳「そして、その中でまあ先月辺りからここにある方々の名前が少しずつ出てきましたけれども今日の夕方になってのが小泉進次郎議員の名前ですね。」

"星浩「そうですね、あのそういうお友達内閣、その謝恩セール内閣というイメージを払拭するためには小泉さん一人でも十分だろうということ、判断で最後の最後になってカードを切ってきたということですけども果たしてそういう効果が出るかどうかはこれからですね。」

小川彩佳「うーん、話題性というところですか。ただ一方で、リスクとすればどういうところがあると。」

"星浩「私は小泉環境大臣 2 つリスクを抱えていると思います。一つは環境省って非常に難しい役所ですね、その原発の汚染水の問題とかです中間貯蔵施設の問題があって、非常に難しい問題をやりきる力量が果たして小泉さんがあるかどうかという問題と、入閣しますと、やはりその先輩も同僚もこれからライバル視、小泉さんを相当意識しますので、そういう嫉妬の海の中でどうやってこれから生きのびていくかという小泉さんの課題だと思いますね。」

小川彩佳「嫉妬の渦の中でかなり試されるということになりますね。まあ今回のこの人事をご覧になってポスト安倍への影響といいますとどういったところがあるのでしょうか。」

星浩「そうですね、ポスト安倍が少しずつ見えてきた、例えばその岸田さん、安倍さんが幹事長に推したと言われているんですけども二階さん葉ですね、岸田さんが幹事長になって公明党との関係をしきれるのかということと安倍さんに注文をつけて岸田幹事長というのは潰れたと言われているんですが、まあ岸田さんもかろうじてポ

スト安倍に残っていると。プラスその菅さん、最近、令和おじさんとして有名になっていますよね。それから茂木さん、加藤さん、そしてここにいませんけれども石破さんもちろん虎視眈々と次を狙っていて、そういう意味ではこの改造でポスト安倍という動きが歯車が一つ動き出したということは言えると思いますね。」

小川彩佳「うーん、ここからさらにどこが誰が、抜け出すのか。」

星浩「これからポスト安倍レースが、号砲が鳴ったということだと思います。」

小川彩佳「いうわけですね。まあ、明日、この内閣改造が行われますので、明日も引き続きこのニュースについてはお伝えすることになるかと思います。」 "

このトピックに当てられた時間は 576 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

#### ・入試改革：結論→不十分

スタジオでの小川キャスターの「さて、続いてのニュースになります、こちら、明日以降は文科大臣に内定しているこの萩生田さんが舵取りを担うことになる大学入試についてのニュースです。」というコメントに山本キャスターが「来年度、つまり、今の高校2年生からですね。英語の試験が大きく変わるんです、しかしあまりの複雑さに全国の校長先生の実に99%が不安に感じているといいます。」"と応える形で導入がなされ、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

"ナレ「東京渋谷の英語塾ではすでに対策が始まっています。」

山本恵里伽「2020年度に向けてとありますけれども、このように今回の新しい入試制度に関する案内もはられています。」

ナレ「来年度から入試センター試験に変わって始まる大学入学共通テスト、英語にTEAPや英検などの民間試験の成績が活用されることになっているのです。」 "

高校2年生A「自分の代で変わったときはびっくりしました。対策とか結構すると思います。」

ナレ「これまでの読む聞くに加え、話す書くの技能を育成するのが国の狙いですが、全国の学校の校長が今日、異議を唱えました。」

"全国高等学校長協会「延期及び制度の見直しを求める要望書を提出させていただきます。」

ナレ「民間試験の導入の延期などを求め要望書を文科省に提出したのです。」

全国高等学校長協会「二学期が始まり、高校生に対する具体的な指導が始まる時期になっても依然として不安の解消がなされない状況が続いております。」 "

ナレ「各地の校長を対象に行なったアンケートでは99%が新たな精度に不安があるとしています、。理由の一つは民間試験の種類が7種類もあることです、採点の方式の違いなどがあり、公平厚生な試験になるのか不安が残っています。」

"ナレ「さらに不安を増しているのが大学側の対応です。新たな制度のもとでは高校3年生や浪人生は4月から12月にかけて英語の民間試験を最大2回まで受験、さらに、翌年1月には今のセンター試験で行っているようなマークシート方式の英語テストも受験します、ただこの3つの試験の成績をどう活用するのかは各大学の方針次第なのです。例えば東京大学は。」

福田裕穂（東京大学副学長）「現時点で業者テストを入学の試験として用いることはあまりただs区内だろう。」

ナレ「最初の年は民間試験を合否の判定に活用しないというのです。大学側の戸惑いは大きく全国の大学短大の

およそ3割はまだ方針を明らかにしていません。」

全国高等学校長協会「子どもたちが見れば見るほど、まだ何も決まっていないというようなそういう不安感がやはりかなり大きな形になっている。」

"ナレ「自分たちの次の年から制度が変わる高校3年生は。」

高校3年生「今年受からなきゃみたいな緊張感は周り見ていても感じますね、来年から変わるからああ今年頑張らなきゃって。」

林洋介（英語塾キャタル塾長）「高いレベルで指導できる教員の数っていうのは非常に少ないと思いますから実際にそのTOEFLってなんですとかそこの格差はあると思いますね。」

ナレ「導入される英語の民間試験の受験料は最高で25380円、裕福な家庭の子供は二回の本番試験の前に何度も練習できるなど経済格差も指摘されています。課題山積の新たな試験制度、しかし文部科学省は実施を延期すればかえって大きな混乱を招く、としています。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「にしても、かなり複雑なこれ山本さん仕組みですよ。」

山本恵里伽「そうなんです。今日、高校生お話ししましたけれども、やっぱり教育現場がまだ追いついていないという印象があって困惑しているという状況でしたよねで、VTRにありましたように経済格差というのも問題なんですけれども今回もう一つ考えたいのは地域による格差なんですね、今日ですね、離島にある高校の校長先生にお話を伺うことができました、その方によりますと生徒のうち数名が今回導入される大学入学共通テストを受ける予定があるということですが英語の民間試験は島の中で受けることができないので、島からでなければならぬ、必然的に受験料の他にも交通費や宿泊費がかかってくるというんです。」

小川彩佳「時間もかかってしまいますし、離島だけでなく試験会場にアクセスがなかなかできないところに住んでいるような高校生の皆さんも困っちゃうんですね。」

山本恵里伽「そうなんです、アクセスが悪いところに住んでいる高校生にとっては不便不利になってしまうということがあるわけですね、ただ文科省は対策としてですね離島に住んでいる高校生に関してはこういった費用の補助を行う方針を示しているそうなんです。ですが、今回お話を伺った校長先生は遠隔地でも実施できる公平な仕組みを作りたいと訴えていらっしゃいました。」

小川彩佳「まずはこの不公平感を払拭していただきたいですし、非常にこの試験高額な物も多いですから、これも民間のね、試験、あの組み込むのは民間のこの試験を大学入試に組み込むのが果たしていいのかどうか、抜本的に考えていきたいなと思いますね。」

このトピックに当てられた時間は371秒だった。

スタジオでの議論は民間試験導入への反対論一色であったが、その反対の論拠である、経済格差だとかアクセスの問題、あるいは制度の複雑さについては英語の民間試験に特有のものではなく、現状の大学入試センター試験およびそれを利用した私立大学の入試あるいは私立大学の複数日程入試などにも言えることであり、民間試験導入反対論に固有の論拠となるようなものではなかったが、あたかもそれを民間試験に特有の問題であるかのように論じる、論調の偏りが見られ、放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」および同四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点では不十分といえるものだった。

- ・大阪府松原市の市議会議員に不祥事：結論→特に問題なし

山本キャスターの「大阪府松原市の市議会議員が本会議を体調不良を理由に欠席しながら妻と沖縄旅行にしていたことがわかりました。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレ「大阪維新の会に所属する松原市の田中厚志市議、今年 3 月に本会議が開かれた際、体調不良のため欠席する、家で養生する、などと妻を通じて維新市議団に連絡して欠席しました。ところが実際はその日の夕方から妻と二人で沖縄へ二泊三日の旅行に行っていたのです。」

"田中厚志市議「あ、体調は本当に悪かったので、

記者「でも、旅行に行けたんですね。」

田中厚志「あのちょっとくさしていたということだったので」 "

ナレ「7 月に維新の会に旅行を告発する当初が届き、発覚しました。」

"田中厚志「バレなければいいみたいな、そういうところはありません。」

記者「髪の毛切られた。」

田中厚志「はい、きりました。はい、もう髪を切ったからと言って反省しているとはならないですけどもまず自分のできることをしようと思ひまして。」 "

ナレ「松原市議会は田中市議を戒告処分とし、維新の会も処分を検討しています。」

このトピックに当てられた時間は 77 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・原田環境大臣の発言：結論→特に問題なし

原田環境大臣の発言について以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"原田義昭（環境相）「思い切って放出して希釈する、と。」

ナレ「東京電力福島第一原子力発電所で増え続けるトリチウムなどを含む水の処分について、原田環境大臣は所管は外れるが思い切って放出して希釈する他に選択肢はない、と述べました、汚染水を処理したあとの水の扱いについて政府は処分方針を正式に決めておらず原田大臣の発言は波紋を広げそうです。」 "

このトピックに当てられた時間は 38 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ルノーCEO のコメント：結論→特に問題なし

ルノーCEO の日産へのコメントについて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ティエリー・ボロレ（ルノーCEO）「ルノーにとっての最優先事項は日産が回復することです。」

ナレ「日産西川社長の辞任の影響についてルノーのボロレ CEO はこう述べた上で企業連合の強化が必要だとも強調、後任社長については指名委員会が人選を始めているとし、ルノーとして具体的な要請をしているかは明らかにしませんでした。」

このトピックに当てられた時間は 29 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・美智子様が退院：結論→特に問題なし

ナレーションによって「一昨日、左胸を乳がんの摘出手術を受けた上皇后美智子様が今日、東大病院を退院さ

## NEWS23 週刊報告 詳細版

れました。現状、転移は認められず少しずつ食事をとるなど、経過は概ね順調だということです。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 20 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・北朝鮮の飛翔体：結論→特に問題なし

ナレーションによって「北朝鮮が午前 7 時頃、中部、平安南道ケチョン付近から日本海に向けて飛翔体を 2 発発射しました。韓国軍の合同参謀本部は飛行距離についておよそ 330 キロと見ています、北朝鮮による飛翔体発射はこの一ヶ月半で八回目です。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 21 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

検証者所感

- ・内閣改造

スタジオでは星キャスターと小川キャスターが誰それは安倍総理に近いだ遠いだなどということを論じていたが、その根拠や具体的に関係性の近さを示すエピソードなどは語られておらず印象論の域を出るものではなかった。もっとも、だからといってそれだけで印象操作であるなどというつもりはないが、視聴者が期待しているのは印象論ではなく、距離が近いなら近いでそうした近さを物語る具体的なエピソードに基づいた議論なのではないだろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年9月11日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：内閣改造、トランプ政権、TBS テレビが過剰演出 小泉環境大臣の発言、上野宏史元厚労政務官の説明		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風15号の影響</li> <li>・内閣改造</li> <li>・トランプ政権</li> <li>・東名高速道路のあおり運転</li> <li>・TBS テレビが過剰演出</li> <li>・小泉環境大臣の発言</li> <li>・上野宏史元厚労政務官の説明</li> <li>・9.11 テロから18年</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#災害の備え</li> <li>・天気予報</li> <li>・東京五輪代表へマラソン代表選考まであと4日</li> </ul>		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣改造：結論→引き続き注視が必要                小川キャスターの「第四次安倍再改造内閣が発足しました。19人の閣僚のうち、小泉進次郎さんなど13人が初入閣という顔ぶれでして、国内外の様々な課題と向き合います。」というコメントを受けて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。                ナレ「新たな船で、19閣僚中17人が交代する大幅な改造となりました。改造内閣について安倍総理は。」                安倍総理「令和の時代の新しい国造りに果敢に挑戦していく、今回の内閣はまさに安定と挑戦の内閣であります。」                ナレ「日韓関係が悪化する中で外交の舵取りを担う外務大臣には茂木経済再生担当大臣、防衛大臣には河野太郎外務大臣がそれぞれ横滑りになりました。また19人の閣僚のうち初入閣は実に13人に登ります。こちらは官邸からの連絡をまつ自民党二階派の事務所です。」                武田良太「官邸って買いてある、出ないと。」                ナレ「着信に気付かず促されて電話に出たのは衛藤晟一―億総活躍担当大臣です。」                衛藤晟一「はい、どうもありがとうございました。」                ナレ「すると、さっきは電話に出るよう促したこの人にも連絡が、武田良太氏も国家公安委員長に決まりました。」                二階派議員「行ってらっしゃい！」</li> </ul>		



ナレ「派閥の仲間たちが拍手で送り出します。今回の改造内閣の特色として安倍総理に近いとされる議員が多数起用されたことにあります。」 "

"菅義偉官房長官「文部科学大臣、教育再生担当、萩生田光一。」

ナレ「安倍総理の最側近の一人萩生田光一幹事長代行は文科大臣に起用されました。」

安倍総理「多様な学びを可能とする教育再生。その担当はかつて官房副長官として内閣の屋台骨を支えてもらった萩生田さんです。」

ナレ「文科省と萩生田氏と言えば加計学園の獣医学部新設をめぐり科ニョが取り沙汰されたこともありました、今日、萩生田氏は。」

萩生田光一（文科相）「国会の中でも、あの、個々の細かいことについては説明はしてきたつもりでいます、その上で今回文科相で大臣という仕事を行うにあたってなんですか疑念が晴れていないというご指摘があるのだとすればいかようにも私の立場で説明できることはしたいと思いますけれども。」 "

"ナレ「そして今回、サプライズ人事として注目されたのが環境大臣として初入閣した小泉進次郎氏です。」

小泉進次郎「今日の一步というのは結果が問われる真価が問われるそういったスタートですから、仕事します。」

ナレ「政権幹部によりますと安倍総理がロシアでの東方経済フォーラムから帰国後、菅官房長官に小泉氏起用の指示があり、一昨日、菅長官が小泉氏に入閣の遺構が確認、本人が前向きな反応が帰ってきた為それを総理に伝え起用に至ったということです。以前、育児休暇も検討する考えも示していましたが。」

小泉進次郎（環境相）「1つ目は公務最優先、そして育休のことに打ちては検討していますか、考えていますかと言われたので、検討しています、そう言っただけで、こんなに世の中賛否両論含めて騒ぎになるということが、日本って固いね、古いね。」

ナレ「会見で東日本大震災の被災地の環境再生に全力を尽くす考えを強調した小泉氏、明日早速福島県の内堀知事と会い復興などについて話し合うということです。」 "

VTR を受けてスタジオでは加藤勝信厚労相を交えて以下に朱記したようなやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「スタジオには入閣された方の中で年金や社会保障問題に対応することになります、厚生労働大臣に就任されました加藤勝信さんにお越しいただきました。よろしくおねがいします。」「

加藤勝信「よろしくおねがいします。」

小川彩佳「加藤さん二度目の厚労大臣ということになりますけれども、受け止めはいかがですか。」

加藤勝信「そうですね、ちょうど一年前まで一年間やっておりましたのでまあどういう形になるのかなという思いはありましたけれども、まああのこうして厚生労働大臣、まさに社会保障あるいは厚生労働行政というのは国民の皆さんの様々な生活に直結をし、また選挙のときにですね何が一番関心が高いですかと、やっぱり社会保障が一番に挙げられてくる、そうした本当に大事な仕事を担わせていただく、再び担わせていただく、そういう意味においてはその重みというものをしっかりと認識すると主に二度目ということではなく常に新たな気持ちで取り組んでいきたいというふうに思っています。」 "

"小川彩佳「前回担当された時は厚労省で問題がまさに山積みだったときですけど、今回は年金や社会保障に関する不安がかつてないほど高まっているこの時期の就任ということになりますね。」

加藤勝信「そうですね、これからまあさらに高齢化が進んでいく。あるいはいわゆる生産年齢人口と言われる 15 歳から 64 歳の人口がさらに減少していく、こういう社会の中で医療や年金、介護を含めてどういうあり方が良



いのか、もちろん給付の仕方もちょうど負担もちょうどです。そういう中で国民のみなさんがたが安心して過ごし続けていただく、と同時にですね、そういう中でどうこの国の活力を増していくのか、という意味においては働き方改革含めてですね本当にいろんなことについて挑戦をしていかなければいけないと思います。」

小川彩佳「加藤さんの舵取りに多くがかかっているわけですがけれども今回三回目の入閣ということで安倍総理の信頼も厚くていらっしゃるのかな、と想像するんですがこちらでですね改めて今回の内閣改造の全体状況を見て参りたいんですが、安倍総理を中心とした円形のボードをご用意いたしました。入閣した方々の総理との距離感を星さんにあらわしていただいたんですが、例えば、まあ発足以来ずっと一緒にいらっしゃる菅さんと麻生さんはこうして右左大臣のように君臨しているわけですが、小泉進次郎さんは石破さんに投票したこともあるという経緯を踏まえてちょっと距離感がある、とこうした中で特に安倍さんに近いこの位置に初入閣の顔ぶれがこうして星さん、ひしめいているわけですね。」 "

"星浩「そういう事もあって私今回の内閣の命名をですね、よいしょ、謝恩セール内閣と。まあいままでいろいろ政局とか政策で世話になった、支えてもらった人に報いるという意味ではですね、そういうところなんですけれどもただそのお友達になりすぎちゃって、色んな意見が多様な意見が反映されないということでちょっと心配かなという点がありますよね、はい。」

小川彩佳「そして三回目の入閣になりまして、官房副長官も経験されてきた加藤さんは、加藤さんのラミネートも実はをご用意しております、」

加藤勝信「ははは。」

小川彩佳「このあたりのどこに星さん位置すると思いますか。」

星浩「加藤さんはね、やっぱり官房副長官からずっとその後、党と内閣で要職、私はもうこの辺（菅官房長官と麻生福総理兼財務相の間）にどんといるのかなと思って、」

加藤勝信「総理より、上、上ですか・・・」

小川彩佳「いやいやそれはまあ。」

加藤勝信「まああの、だいたい謝恩セールって、その謝恩でですね内閣というのは担えるものではなくて、やっぱり国民の期待に応える布陣を今日は総理の記者会見の中でそれぞれ皆さんがたがどういう仕事をしてきて、そしてそれが今日のポジションに任命するにあたってどうだったということを一つ一つ細かく説明をされていたと思います、でそれぞれ皆さんもこれまで官房副長官であったり、補佐官なりといろんな形でもちろん安倍政権を支えているわけですがこれはここにいるメンバーだけではなくてやはり我々党全体として安倍政権を支え、そしてその中でやっぱりこれからの時代にあった社会にしていく、そしてその安定した基盤を作り、またそれによって我々は次の時代を切り開く、チャレンジをしていく。今日は総理が安定と挑戦という言葉を言われましたけれどもまさにそれを実行していく。その布陣だ、というふうに思います。」 "

"小川彩佳「まあこうして距離が近いということだけではまったく問題ないんですけれども。みなさんが」

加藤勝信「いや、距離もそれぞれ一緒に仕事をしていたということであってですね。」

小川彩佳「だけであって、で加藤さんはこの距離感はちょっと、」

加藤勝信「どの距離感が近いかどうかというより、みんな全員が安倍政権を支え、自公政権を支え、そして政権を支えるということを通じて、今申し上げたようにこの時代を切り開いていきたい、その思いはみんな一緒だと思いますけれどね。」 "

"小川彩佳「そうですね、まあまさに加藤さんは厚生労働大臣としてどのように対応していくかというところになるわけですが、今やはり老後 2000 万円問題などで年金不安が非常に高まっています。まもなく始まる国会でも野党からの追及のまさに矢面に立てれるという事になりますが、どのように対応していけますか。」

加藤勝信「まずあの、年金のことについては先月あの財政検証というのが行われてこれは 100 年にわたって年金が安定的に運用されているか、その基準としては働いている、これ男性の賃金から社会保険料税金を除いた実質賃金に対して何割くらい支給されているか一応 50%を目途に百年間見通していきましょうということで、ただこれいろんなケースによってですね、答えは違ってくるんですけれども、まあ経済が成長して労働参加率、より多くの人が働いてくれる、という前提の中では一応それが見通していける、それから五年前に比べても若干その経済状況も違いますけれども若干の改善が見られているということが示されています、加えてこういうことをしたら自分のもらえる年金が増えていきますね、っていう選択肢をいくつか出しています、実際それを計算してそれが年金財政にどうつながるかというのもやっていますので、今度はそれをベースに具体的に例えば適用対象を非正規で働いている人も厚生年金に入っていけるようにしていくとか、あるいは支給時期を自分で選んで後ろ倒しにして、その間は働きながら、そして将来より多くの年金をもらえるようにするとか、ですね、そういった選択肢についてしっかり議論することで、年金の、年金に対する信頼というものを高めていく努力をしていくのが大事だと思います。」 "

"星浩「あの、財政検証の中で国民年金のがくがガクッと減るという試算があってやっぱりちょっとマクロ経済スライドも国民年金への適用はちょっと考え直しておほしいという意見が野党にもでているんですけれども。」

加藤勝信「ガクッとという意味はですね、実質賃金に対して何割カット、今は 60%厚生年金も含めて 6 割が 5 割に下がりますからこれは下がるんですけれどももらえる年金額については物価水準を加味するとほとんど横ばいなんですね、で国民年金は確かに若干下がります、でもそんなに多く下がるわけではないっていうのと、今回消費税 10%入れる時に社会的福祉、年金生活者給付金制度ということで最大 5000 円支給するということであるいは所得の少ない人に介護保険料を更に低くするとかこういう施策を進めてまいりますので、こういったことをやりながらですね、そういった年金所得の少ない人達にも目配りをしていく、ただベースでいちばん大事なことはきちんと経済を成長させていく、っていうことこの事が大事だと思います。」 "

"小川彩佳「そのベースがなければ、年金制度も無理という。」

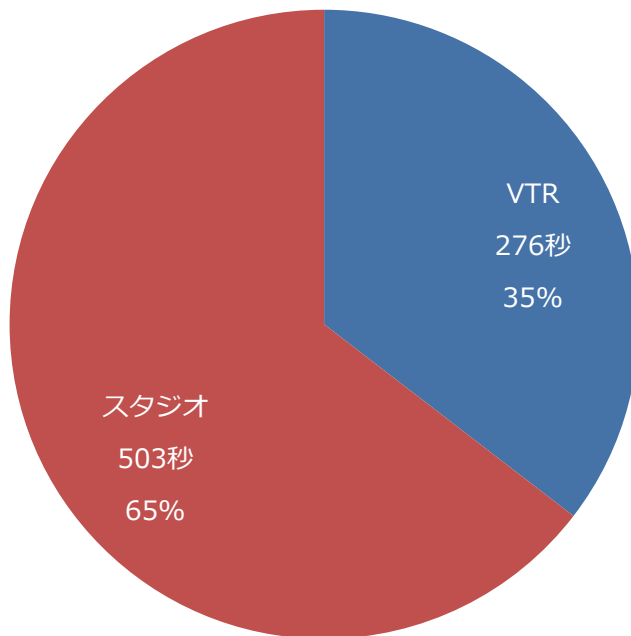
加藤勝信「年金制度だけではなくてですね、この国自体を維持していくということ自体が大変難しくなっていくと思います。」

小川彩佳「はい、加藤さん厚生労働大臣としての手腕が問われるということになってまいります、今日はどうもありがとうございました。」

加藤勝信「どうもありがとうございました。」 "

また番組のクロージングでは"小川キャスターの「今日は加藤大臣に来ていただきましたね。」というコメントに星キャスターが「そうですね、非常に真面目な方で、あの社会保障の負担増についても正面から向き合っていたきたいですね。」と応えていた。

このトピックに当てられた時間は 779 秒で、VTR とスタジオでの時間配分は以下の通りであった。



今回は社会政策の要となる加藤勝信厚生労働大臣をスタジオに招いていたが、今度はどの政策分野の大臣を招くのであろうか。ある分野が偏って取り上げられる、というようなことがないよう引き続き中止が必要であると考ええる。

・トランプ政権：結論→特に問題なし

小川キャスターの「続いてのニュースです、。トランプ政権からまた一人キーマンが去ってきます、アメリカのトランプ大統領は安全保障政策を担当し、強硬派として知られるボルトン大統領補佐官の更迭を発表しました。」とのコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"トランプ大統領 (Twitter) 「ボルトン氏に対し、これ以上ホワイトハウスでの仕事は必要ないと伝えた。」

ナレ「10 日、アメリカのトランプ大統領は Twitter でボルトン大統領補佐官の更迭を発表しました。ボルトン氏による多くの提案が自分の考えに合わなかったことから 9 日夜に辞任を求め翌朝に同意を得たとしています。これに対しボルトン氏は。」

ボルトン氏 (Twitter) 「私は昨夜、自ら辞職を申し出た、トランプ大統領はこのことは明日話そうといった。」

ナレ「と、解任ではなく辞任だと主張しました。これまでも意見が食い違う閣僚らを相次いで解任してきたトランプ氏ですが辞任したサンダース前報道官「やマティス前国防長官など政権を去った閣僚や高官らは 20 人以上に登ります。」 "

"ボルトン氏 (2003 年) 「北朝鮮での生活は地獄のような悪夢だ。」

ナレ「以前から北朝鮮への辛辣な批判を行ってきたボルトン氏、大統領補佐官就任後はイランや北朝鮮に対する

強硬派として政権の安保政策に影響を与えてきました。今年 2 月ハノイで行われた米朝首脳会談、ボルトン氏は北朝鮮に完全な非核化を求め続け会談は物別れに。そうした強行な姿勢に対米交渉に携わる北朝鮮の崔善姫第一外務次官は。」

崔善姫第一外務次官（4 月）「間抜けだ。今後も分別のない発言をするなら彼にはいいことはない。」

ナレ「北朝鮮外務省も。」

北朝鮮外務省「このような人間不良品は一日も早く消えるべきだ。」 "

"ナレ「ボルトン氏が去ったことで今後アメリカの北朝鮮への対応が変わる可能性があります。専門家は。」

小谷哲男（明海大学准教授）「非核化を徐々に進める中で制裁を徐々に緩和するアプローチ。9 月の下旬にも実務協議を再開してもいいと言っている中でアメリカとしてもなんとしても北朝鮮と交渉を進めたいんだと、そういうシグナル。」

ナレ「北朝鮮に対する制裁が緩和される可能性があるとしてき、一方で日本への影響をこう危惧します。」

小谷哲男「全ての大量破壊兵器を撤去すると、そういう考えを訴える人がトランプ政権からいなくなるということはやや不安ではあると思います。まあ短距離や中距離はいいのではないかという意見が出てくるとすればこれは日本の安全保障には必ずしもいいことではないということが言えると思います。」 "

"小川彩佳「強硬派と言われてきたボルトン氏の更迭ですけれども日本へも影響が出てくるかもしれないということと。」

星浩「そうですね、トランプさんちょっと難しい事情があるようです、最近の世論調査ではですとですね支持は 38%まで落ちている、不支持はこんなに（56%）増えているんですけれどもこういう状況で北朝鮮の外交などで派手にぶち上げるとですね支持率回復を狙おうということなんですけれどもまあ原理派のボルトンさんがじゃまになったというのが実態だと思いますね。ただ日本にとってもですね原理原則のない妥協を北朝鮮とやられてしまうと困るわけですからここはちょっと日本側もトランプさん自身に安倍総理から直々に釘を刺す場面があってもいいと思いますね。」 "

このトピックに当てられた時間は 247 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

#### ・TBS テレビが過剰演出：結論→特に問題なし

山本キャスターの「TBS テレビはバラエティ番組クレイジージャーニーで予め準備していた生き物をあたかもその場で発見したかのように演出していたと発表しました。」というコメントを受けて以下に朱記したようにナレーションで説明されていた。

ナレ「問題の番組は先月 14 日に放送したクレイジージャーニーの二時間スペシャルとその日深夜のレギュラー番組です。番組では爬虫類ハンターがメキシコに生息する珍しい生き物を 6 種類を捕獲しましたがこのうち四種類は番組スタッフが現地の協力者に頼んで事前に準備をしたものを放って撮影し、その場で発見したように演出したことが放送後の調査でわかったということです、さらに過去 10 回放送した爬虫類ハンターの企画では合わせて 37 種類の生き物を捕獲しましたがこのうち 11 種類は事前に準備したものだったとのこともこれまでの調査でわかりました、TBS テレビは事実に依拠した番組で事実を歪めたことになりあってはならないものだと考えております、深くお詫び申しあげます、として調査が完了するまで番組を休止すると質得ます。」

このトピックに当てられた時間は 80 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・小泉環境大臣の発言

山本キャスターの「小泉進次郎環境大臣が前大臣の原発汚染水をめぐる発言について言及をしました。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

小泉進次郎環境大臣「努力をされてきた方々のご苦勞をさらに大きくしてしまうようなことがあったとしたらならばそれは大変申し訳ないことだと思いますし。」

ナレ「今日就任した小泉進次郎環境大臣は福島第一原発廃炉に伴う汚染水処理に関し原田前環境大臣が海に放出するしかないと言ったことについて、所感外とした上で福島の方々がこれ以上傷つくことがないように議論してほしい、と注文をつけました。」

このトピックに当てられた時間は 52 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・上野宏史元厚労政務官の説明：結論→特に問題なし

上野宏史元厚労政務官について以下に朱記した VTR が取り上げられていた

ナレ「外国人労働者の在留資格をめぐる口利き疑惑で厚生労働政務官を辞任した自民党の上野宏史衆院議員が騒動後初めて公の場に姿を表しました。」

上野宏史（全厚労政務官）「違法な斡旋口利きをしたり、またはお金を受け取ったという事実はないということです。」

ナレ「上野氏は元秘書とのやり取りとされる音声について私の音声があったことは事実と認めた上で、違法な口利きはなくお金をもらうことにはなっていなかったと改めて疑惑を否定しました。」

このトピックに当てられた時間は 41 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・内閣改造

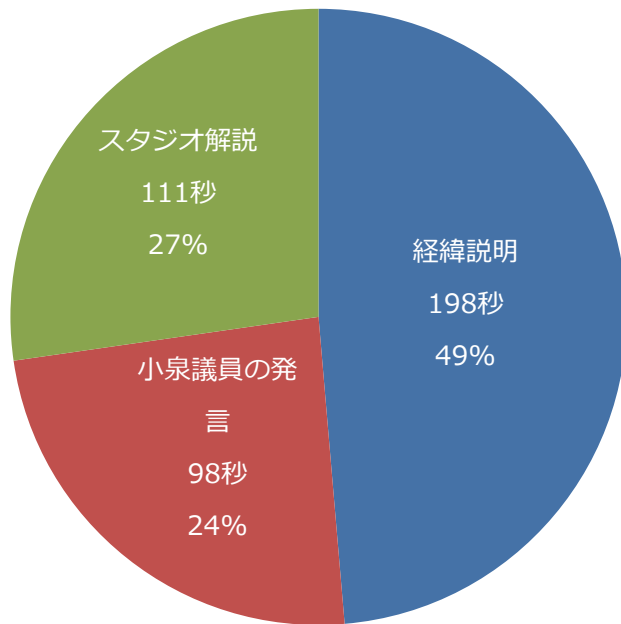
スタジオでの加藤勝信厚労相の「ベースでいちばん大事なことはきちんと経済を成長させていく、っていうことこの事が大事だと思います」、「年金制度だけではなくてですね、この国自体を維持していくということ自体が大変難しくなっていくと思います。」という言葉がとても印象に残った。

・TBS の過剰演出

ナレーションは「問題の番組は先月 14 日に放送したクレイジージャーニーの二時間スペシャルとその日深夜のレギュラー番組です。」と伝えていたが、なぜ問題のあった番組のうちクレイジージャーニーのみ番組名を公表し、もう片方については「その日深夜のレギュラー番組」とぼかしていたのだろうか。まさか、これが報じない自由ということなのであろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2019 年 9 月 12 日
出演者：【キャスター】小川彩佳、山本恵里伽、星浩、石井大裕		
検証テーマ：第 4 次安倍再改造内閣、ふるさと納税、宮川典子衆議が死去、ECB が 3 年半ぶり利下げ 自民改憲本部長に細田氏を再起用、対中関税を先送り		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県停電 4 日目</li> <li>・第 4 次安倍再改造内閣</li> <li>・ヤフーが ZOZO を買収</li> <li>・ふるさと納税</li> <li>・特殊詐欺グループ逮捕</li> <li>・newstories <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生がスズメバチに襲われる</li> <li>・宮川典子衆議が死去</li> <li>・ECB が 3 年半ぶり利下げ</li> <li>・自民改憲本部長に細田氏を再起用</li> <li>・対中関税を先送り</li> </ul> </li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・# 異論反論 objection 「災害の備え」</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 4 次安倍再改造内閣→結論：放送法第四条の見地から問題なし。</li> </ul> <p>今回は内閣改造が行われた顔ぶれの中で小泉進次郎氏にスポットを当てる形で報道がされた。小泉氏の動向を追いつつ、前環境相が発言した福島原発の汚染水の処理問題についての対応を報じた。今トピックに充てられた報道時間は 407 秒で、経緯説明・小泉氏の発言・スタジオ解説に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



報道の内容は以下の通り。

小川「こちらは昨日環境相に就任した小泉進次郎氏です。今日、前の大臣との引き継ぎ式に臨みました。」

山本「戦後3番目の若さで入閣し注目される小泉氏ですが、さっそく難しい課題を突き付けられています。」

小泉環境相（自民党）「本当にまたこうやって知事と仕事ができるのはうれしいです。」

ナレーター「福島県の内堀知事と固い握手を交わした小泉進次郎氏。被災地の復興を自らのライフワークとする進次郎氏は環境大臣としての第一歩に福島を選んだのです。」

小泉「私が復興大臣という意識の中で環境大臣を務め、信頼をこれからも深めていけるように努力しますので、どうかよろしくお願いします。」

ナレーター「しかし、小泉大臣の前にはさっそく難題が。福島第一原発にたまり続けている汚染水をめぐり原田前大臣が退任の直前にこう発言したのです。」

原田前環境相「思い切ってね、それを放出してそれを希釈すると。」

ナレーター「汚染水を海に放出すべきとした原田氏。これに漁業関係者は猛反発しました。」

岸宏会長（全国漁協連合会）「風評被害を増長するものであると。浜の業者は今回のこの発言にまさに怒り心頭に達しております。」

ナレーター「進次郎氏はさっそく火消しに迫られます。」

小泉「地元の福島の皆さんの気持ちをこれ以上傷つけないような、そんな議論の進め方をしなければならない。」

ナレーター「こう前任者の発言に苦言を呈する一方で。」

小泉「所管は環境省ではありません。あれは経産省の小委員会で議論されている過程のことなので、そこは経産



省の小委員会でしっかりと議論していただきたい。」

ナレーター「汚染水の問題は自らの所管ではないと述べました。ただ、汚染水の問題は待ったなしです。溶け落ちた核燃料を冷やすため、今も続く原子炉への注水作業。放射性物質で汚染された水は、爆発事故で空いた穴から建屋の中に漏れ続けていて、処理を施した後もタンクにためるしかありません。」

レポーター「見渡す限りタンク、タンク、タンクです。」

ナレーター「一日に増える水は 170 トン。東電は 2022 年の夏ごろには敷地内のタンクが満杯になるとしています。環境省の外局、原子力規制委員会の更田委員長は海への放出を繰り消し求めています。」

更田豊志委員長（原子力規制委員会）「苦渋の決断になるかもしれないが、やはり判断が速やかにできるだけ速やかにされることを期待したいと思う。」

ナレーター「一方でタンクを増やし、保管を続けるべきとの意見もあり、汚染水の見通しは行先はまだ決まっていけないのです。今日、進次郎氏は福島県の漁業関係者のもとに赴き、こう謝罪したということです。」

小泉「率直に申し訳ないと。前大臣の発言なので、新しく大臣になった私が所管外とはいえ、そこで傷ついた方々にしっかり向き合うこともやらないといけないと感じました。」

ナレーター「住民の理解が最も大切とした小泉氏。今後大臣としての手腕が問われることになりそうです。」

小泉「福島の皆さんに信頼されないのは当然だと思う。信頼していたら絶対安全だと言っていたのに安全じゃなかったわけですから。安全神話にとらわれて。信頼『信なくば立たず』と。その言葉をしっかり胸に刻んで一つ一つの課題に取り組んでいきたいと思う。」

小川「汚染水について小泉大臣は所管外と話していましたが、こういうことなんです。汚染水をどうするか、その処分方法を検討しているのは経済産業省で、菅原大臣の所管ということになります。一方で、小泉氏が就任した環境省は福島第一原発による除染ですとか、除染によって出た土、除染土について所管しているということで所管外ということなんですよね、星さん。」

星「まあ、汚染水でも海の水質という観点では環境省にもかかわりがあるんですけども、今の内閣は全員が復興大臣のつもりでという触れ込みでやっているわけですから、あまり縦割りにこだわらず、垣根を越えて議論してもらいたいと思います。小泉さんはこれまでも福島に通って色んな発言をしてこられましたし、大臣になっても霞が関の障壁とか縦割りにこだわらないで、汚染水の問題とか再稼働の問題について積極的に動いてもらいたいと思います。」

小川「汚染水も除染も、どちらも待ったなしの状態ですから、さっそく小泉氏の手腕が問われるということになりますね。」

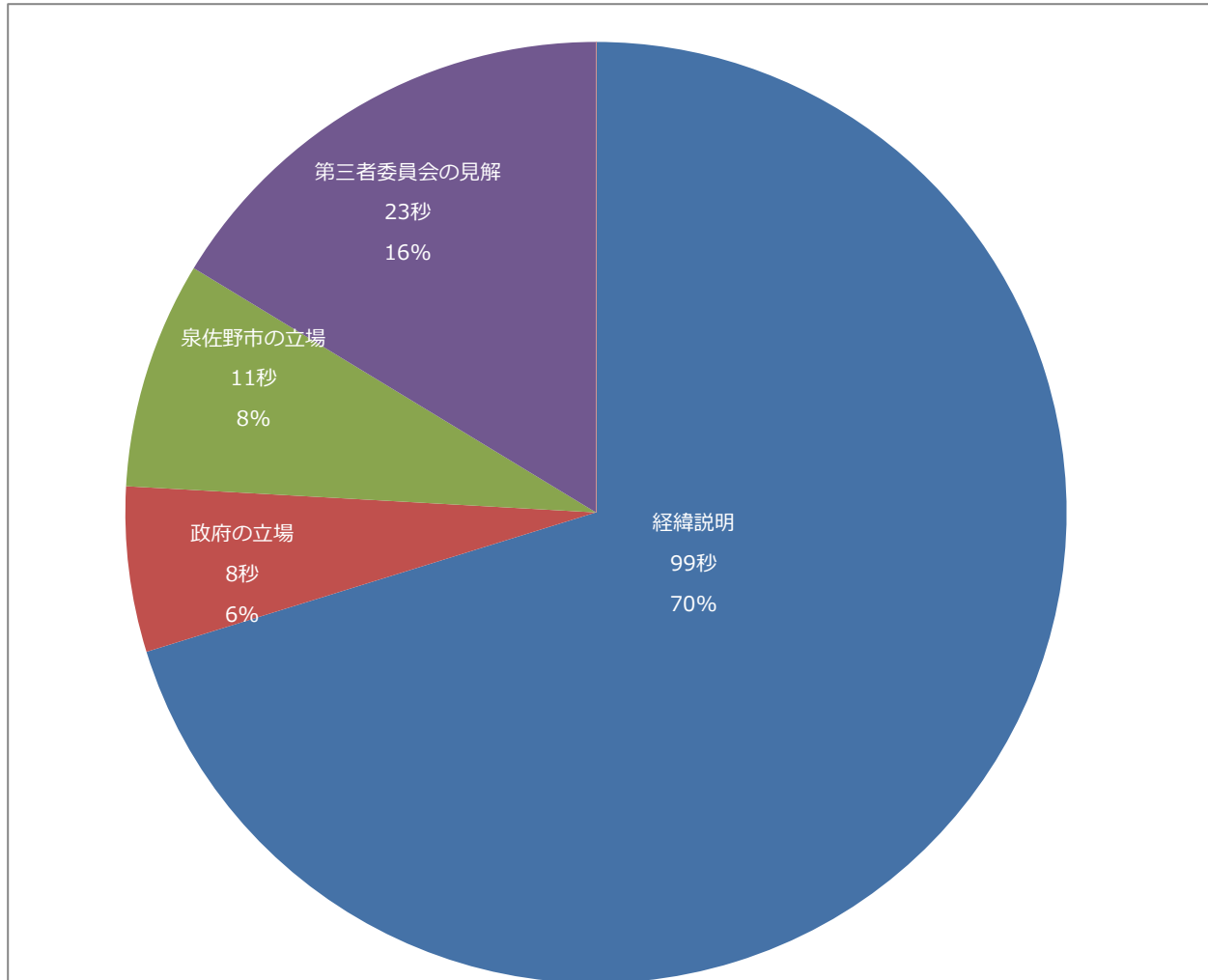
星「確かに、現実大臣になってみるといろいろな問題が出てきます。経産省は電力業界のことを考えますし、いざ何かやろうと思うと財務省の予算の制約がありますよということになりますから。ここは環境大臣一人で孤軍奮闘というわけにはいかないんで、チームを作って政府一体となって、場合によっては自民党も巻き込んで、改革を進めていく必要があると思います。そういう意味では小泉さん一人の力ではなくて、チームワークをどうやってつくれるかというのが小泉さんの力量が問われるところだと思います。」

今回は時間配分の面でも、内容の面でも印象操作を誘発するような内容とは言えなかった。

放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・ふるさと納税→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は国と地方が対立する形となっているふるさと納税について報道がされた。今回は報道全体ではなく、国と地方が対立している部分のみ抜き出す形で時間計測を行った。今トピックに充てられた報道時間は 141 秒で、経緯説明・政府の立場・泉佐野市の立場・第三者委員会の見解に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道の内容は以下の通り。

小川「続いては曲がり角を迎えるふるさと納税についてです。」

山本「豪華な返礼品ばかりが独り歩きするようになったため、国は今年 6 月から制度を変更しました。あまりにも高額だったり、地元と関連のない返礼品については提供ができなくなったんですね。その結果、寄付金が 100 分の 1 にまで激減する自治体も出るなど各地で混乱が起きています。」

ナレーター「夜空を彩ったのは 7000 発の花火です。大阪・泉佐野市の花火大会です。実は来年、その存続が危ぶまれているのです。理由はふるさと納税をめぐる国との対立。鹿児島島のウナギに、宮城の新米。肉の盛り合わせに、ビールにランドセル。泉佐野市は全国から集めた豪華な返礼品を武器に昨年度全国一位となる、実に 500 億円近くの寄付金を手に入れました。実は、花火大会もこの寄付金が財源になっていたのです。」

石田元総務相「自分のところだけが良ければ、他の自治体への影響は関係がないという、身勝手な考えであり。」  
ナレーター「国はルールを変更。返礼品を寄付額の3割以下。さらに地元産に限るとしました。そして、法律を改正し、今年6月の新制度から泉佐野市を対象から外したのです。」

千代松泉佐野市長「後出しじゃんけんのよう規制というか、通知を持って抑えつけようとしてきたのが総務省。」  
ナレーター「納得がいかない泉佐野市が国の第三者機関に審査を申し立て、その結果第三者機関は国のやり方は法律違反の恐れがあると判断。その結果、総務省に再検討を求めました。新ルールに倣った自治体は寄付金の減少に苦しんでいます。」

時間配分を見ると政府の立場と泉佐野市の立場とで配分の差は見られない。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・宮川典子衆議が死去→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は自民党の宮川典子氏が死去されたことが報じられた。今トピックに充てられた報道時間は24秒で、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・ECBが3年半ぶり利下げ→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回はECBが利下げ判断をしたことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は41秒で、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・自民改憲本部長に細田氏を再起用→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は自民党の憲法改正推進局長に細田氏が再起用されたことが報じられた。今トピックに充てられた報道時間は24秒で、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・対中関税を先送り→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は長引く米中貿易交渉について、10月1日に予定されていた対中関税を延期すると発表されたことが報じられた。今トピックに充てられた報道時間は25秒で、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

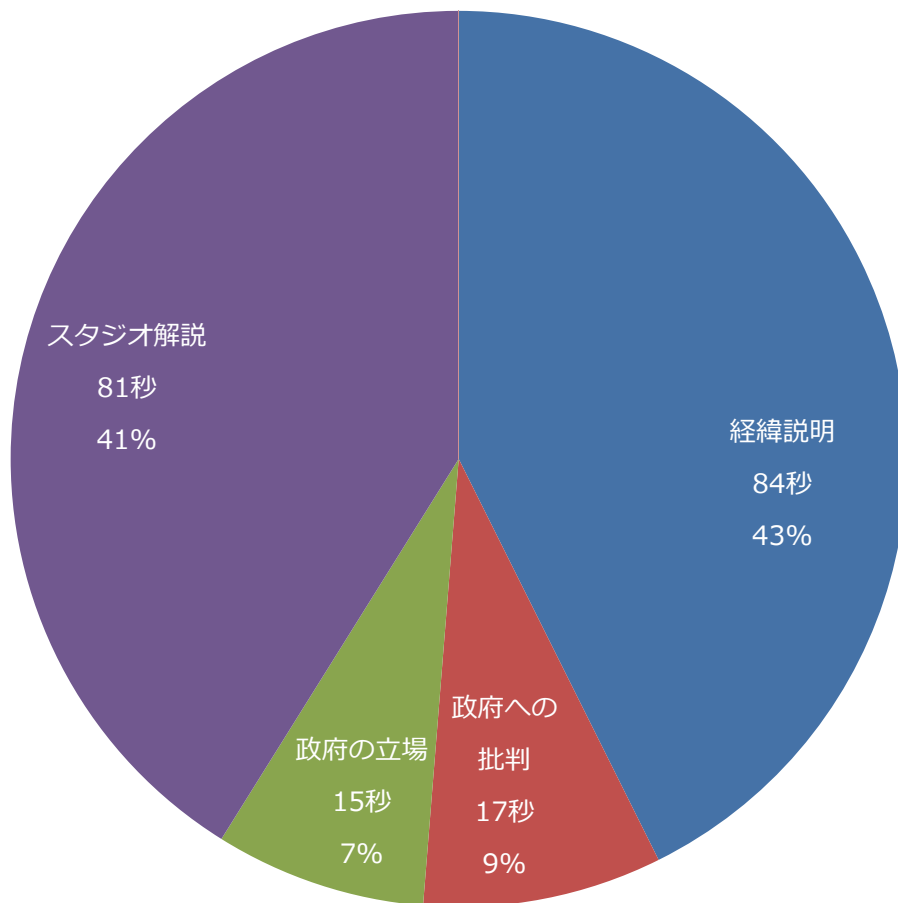
最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし。

検証者所感

特になし。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2019 年 9 月 13 日
出演者：【キャスター】小川彩佳、山本恵里伽、星浩、石井大裕		
検証テーマ：被災のさなかに内閣改造、米中貿易に暫定合意検討、諫早訴訟で差し戻し審 ロシア政府に米スパイの疑い		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県停電</li> <li>・台風の影響で断水</li> <li>・被災のさなかに内閣改造</li> <li>・newstories               <ul style="list-style-type: none"> <li>・米中貿易に暫定合意検討</li> <li>・諫早訴訟で差し戻し審</li> <li>・ローマ法王が訪日</li> </ul> </li> <li>・金曜第三惑星「イグ・ノーベル賞」</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・埼玉県で豚コレラ確認</li> <li>・ロシア政府に米スパイの疑い</li> <li>・中秋の名月</li> <li>・天気予報</li> <li>・MGC 特集</li> </ul>		
放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災のさなかに内閣改造→結論：放送法第四条に抵触のおそれあり。</li> </ul> 今回は台風の影響で千葉県での停電が続く状況で内閣改造を行ったことに対する政府への批判について報じられた。今トピックに充てられた報道時間は 197 秒で、経緯説明・政府への批判・政府の立場・スタジオ解説に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。		



報道の内容は以下の通り。

ナレーター「長引くライフラインの障害。政府や自治体の初動対応に問題はなかったのでしょうか。千葉県選出の自民党議員からは。」

秋本真利衆院議員（自民党）「東京電力の当初の発表では 2,3 日で全面復旧すると。この見通しを政府も千葉県も全て信じてアクションしてきた。最悪の事態を想定して動いていなかったという大きな反省があります。」

ナレーター「また、千葉県の森田知事は。」

森田健作千葉県知事「県民の皆さんに十二分にできなかったこともある。」

ナレーター「県として被災情報の収集が不十分だったことを認めました。一方、台風の被害が出ている最中に内閣改造が行われたことについては。」

福山哲郎幹事長（立憲民主党）「私は組閣の日に 40 数万戸が停電して命が危険にさらされている中で、燕尾服を着て改造することはいかなげなものかと。遺憾だと。」

ナレーター「政府は台風が接近した先週末、大きな被害は出ないとの見通しで関係閣僚会議の開催を見送ってい

ました。そして、台風が直撃した直後の月曜日には安倍総理が一部の官邸閣僚と会議を開き、2,3 日で復旧するだろうとの見方を共有したとのことです。一連の対応について官房長官は。」

菅官房長官「今回の豪雨災害の対策については大雨となる前から災害発生後にかけて、迅速かつ適切に行ったと考えている。」

ナレーター「適切な対応だったと強調しました。」

小川「昨日現場を取材した際に聞かれたのはやっと自分たちに目が向いてきたという安堵の声、そして報道も支援もなぜこんなに遅れたという苛立ちの声でした。皆さん、被害がないがしろにされるのではないかという不安があったんじゃないかと思うんです。菅官房長官は対応は迅速で適切だったとおっしゃっていますが、果たして不安な思いをされた方の前で同じことがおっしゃれるのだろうかと思います。」

星「政治は結果責任が問われるもので、これだけ大規模な停電やこれだけダメージを受けているという結果に対しては、重大な責任を免れることはできないと思います。政府部内に聞いてみますと、当初この台風は死傷者が相次ぐという状況ではないということもあって、初動が遅れたという反省があったんです。それから自衛隊以外の他の象徴の動きも実際に鈍いという意見もありまして。やはりお年寄りの疲労も限界に来ていまして、連休は雨も予想されますので、関係省庁は総力を挙げて復旧に取り組んでももらいたいと思いますね。」

時間配分を見ると、政府への批判と政府の立場の配分に大きな差は見られない。

しかし、菅官房長官の発言が政府の対応に問題はないという立場であることに疑問を持たれるような構成であることは否めない。この構成は大きな問題とまでは言えないが、公平性という観点から問題を感じさせる。

今回は放送法第四条第一項二号「政治的に公平であること」に抵触するおそれがある。

・米中貿易に暫定合意検討→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は米中貿易に関して、暫定合意の可能性をトランプ大統領が示唆したことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 61 秒で、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・諫早訴訟で差し戻し審→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は諫早湾干拓事業訴訟で最高裁が高裁に差し戻す判決を下したことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 55 秒で、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・ロシア政府に米スパイの疑い→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回はロシア政府の高官に米スパイが在籍していたとアメリカの報道機関が報じたことが伝えられた。両国はこの内容を否定したことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 22 秒で、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

## NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし。

検証者所感  
特になし。